



## ALCALDESA O ALCALDE DE MUNICIPIO



ESTADO - MUNICIPIO	PARTIDO	CEDULA	NOMBRE
DISTRITO CAPITAL DEL MUNICIPIO BLVNO LIBERTADOR	PSUV	V8146803	CARMEN TERESA MELENDEZ RIVAS
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO ANACO	PSUV	V17420386	JESUS DAVID RIOS CASTELLANO
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO ARAGUA	TUPAMARO	V14307756	CRUZ DE LOS ANGELES TORREALBA MILANO
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO SIMON BOLIVAR	PSUV	V14241890	SUGEY YOLANYS HERRERA MOGOLLON
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO MANUEL EZEQUIEL BRUZUAL	PSUV	V4190111	CARMEN CECILIA RODRIGUEZ SALAZAR
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO JUAN MANUEL CAJIGAL	PSUV	V8337529	MIREYA JOSEFINA MOLERO SILVA
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO PEDRO MARIA FREITES	PSUV	V24230825	GABRIEL ANTONIO HERNANDEZ TRILLO
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO INDEPENDENCIA	PSUV	V13015225	HERNAN CRAIGG RODRIGUEZ VIÑA
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO LIBERTAD	PSUV	V20103490	PABLO JOSE CARIACO MEJIAS
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO FRANCISCO DE MIRANDA	PSUV	V16249744	ANGEL RAFAEL VASQUEZ
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO JOSE GREGORIO MONAGAS	PSUV	V16250315	LUIS ENRIQUE SILVA LARA
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO FERNANDO DE PEÑALVER	PSUV	V7129089	JANNETTE MARIA CALISTA ADAMES
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO SIMON RODRIGUEZ	PSUV	V18766841	ALBERTO JOSE GAGO BETANCOURT
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO JUAN ANTONIO SOTILLO	PSUV	V11448441	JESUS RAFAEL MARCANO TABATA
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO SAN JOSE DE GUANIPA	PSUV	V11656882	PEDRO LUIS MARTINEZ LOPEZ
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO GUANTA	PSUV	V14422639	YINDER FERNANDO SALDIVIA MEDINA
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO PIRITU	PSUV	V17704817	LUCIA EUGENIA CORDOVA ZERPA
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO TURISTICO DIEGO BAUTISTA URBANEJA	FV	V13914664	MANUEL ARTURO FERREIRA GONZALEZ
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO FRANCISCO DEL CARMEN CARVAJAL	PSUV	V8283146	ELBA MARIA CHAFARDET GONZALEZ
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO SANTA ANA	PSUV	V16665792	FREDDY RAMON FERNANDEZ BERNAY
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO SIR MC GREGOR	PSUV	V11446191	LISANDRO JOSE MARCANO MARCANO
ESTADO ANZOATEGUI DEL MUNICIPIO SAN JUAN DE CAPISTRANO	PSUV	V16181853	ALEXANDER SAIED NASER NASR
ESTADO APURE DEL MUNICIPIO ACHAGUAS	PSUV	V16977695	JOSE GREGORIO REBOLLEDO JUAREZ
ESTADO APURE DEL MUNICIPIO MUÑOZ	PSUV	V15146782	ILENA ESPERANZA PEÑA CALZADILLA
ESTADO APURE DEL MUNICIPIO PAEZ	PSUV	V16155832	JOSE ANGEL RAMIREZ SEGURA
ESTADO APURE DEL MUNICIPIO PEDRO CAMEJO	PSUV	V18015585	JOSE RAFAEL CABRERA CUERVO
ESTADO APURE DEL MUNICIPIO ROMULO GALLEGOS	PSUV	V12582763	PEDRO VICENTE GUERRA
ESTADO APURE DEL MUNICIPIO SAN FERNANDO	PSUV	V14520299	YOEL LISANDRO SOLORZANO SOLORZANO
ESTADO APURE DEL MUNICIPIO BIRUACA	PSUV	V16993416	JOSE ANTONIO FRANCO MARTINEZ
ESTADO ARAGUA DEL MUNICIPIO GIRARDOT	PSUV	V17470297	RAFAEL JOSE MORALES CAZORLA
ESTADO ARAGUA DEL MUNICIPIO SANTIAGO MARIÑO	PSUV	V17570976	CARLOS EDUARDO GUZMAN VENOT
ESTADO ARAGUA DEL MUNICIPIO JOSE FELIX RIBAS	PSUV	V15256791	JUAN CARLOS SANCHEZ CAMPOS

（写真）選挙管理委員会（CNE）“CNE 7月27日の市長選・市議会議員選の当選者リストを公表”

### 2025年7月28日（月曜）

#### 政治

「[CNE 全ての市長・市議会議員選の当選者発表](#)  
～与党連合285市、その他政党50市～」

「[MCM 90%の国民がマドゥロ政権を拒絶した](#)」

「[大統領選から1年 野党が不正選挙を訴え](#)」

#### 経済

「[米 Chevron ベネズエラ事業再開について説明](#)  
～ロイヤリティ、法人税などの支払い不明瞭～」

「[外国企業 米政府にベネズエラ事業の再開要請](#)」

「[Bancamiga 6カ月で財務収入354.2%増](#)」

「[JAC Motor カラカスに正規販売店オープン](#)」

### 2025年7月29日（火曜）

#### 政治

「[外相 米政府による児童33人の誘拐訴え](#)」

#### 経済

「[大企業・中堅企業の税負担 GDP 1.4%に相当](#)」

「[輸出有望産業はカカオ、果物、メタノール](#)」

「[2025年Q1 コーヒー輸出は500%増](#)」

「[ベネズエラ イランと6分野で協力深化約束](#)」

#### 社会

「[ベネズエラでポピュラーな名字トップ10](#)」

「[CLAPの中身と現在の価格、購入条件は？](#)」

「[グアリコ州 豪雨で9000超の世帯に影響](#)」

2025年7月28日（月曜）

## 政治

「CNE 全ての市長・市議会議員選の当選者発表  
～与党連合285市、その他政党50市～」

7月27日 全国市長・市議会議員選およびコミュン選挙が行われた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1248](#)」）。

選挙当日の一次速報の時点で、当選が確定した市長は335市のうち304市、市議会議員は2,402議席のうち2,184議席だったが、翌日には全ての公職選の当選者が確定。

「選挙管理委員会（CNE）」は、ソーシャルメディア・アプリ「Telegram」にて選挙結果を公表した。

今回の市長選の結果は、与党連合「偉大な愛国者連合（GPP）」の当選者が285人（約85%）、与党連合以外の当選者が50人（約15%）。

前回2021年に行われた市長選では、与党連合「偉大な愛国者連合（GPP）」の当選者が211人（約63%）、与党連合以外の当選者が124人（約37%）だったので、与党連合が大きく市長数を伸ばしたことになる。

今回の市長選の結果と分析については、本日付けの「[ウィークリーレポート No.417](#)」を参照されたい。

なお、CNE が公表した実際の当選者リストは「[ALCALDESA O ALCALDE DE MUNICIPIO](#)」の通り（1ページ目の表紙は当選者リストの一部）。

このリストには「州・市」「所属政党」「個人番号」「当選者の名前」しか書かれておらず、当選者が何票を獲得して、得票率が何パーセントで当選したかなどの情報が抜けている。

CNEは、「投票数は627万3,531票」と発表したが、各市の選挙結果の詳細は発表していない（主要都市の選挙結果については、一次速報の段階で部分的に発表されている）。

従って、627万3,531票のうち、どれだけ与党候補が獲得し、どれだけ野党候補が獲得したのか、など投票結果の詳細について分析することは現段階ではできない。

マドゥロ大統領は、今回の選挙結果について「民主主義の勝利」と宣言。当選した50人の野党市長について「共に協力して働こう」と呼びかけた。

## 「MCM 90%の国民がマドゥロ政権を拒絶した」

野党のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏（以下、MCM）は、7月27日に行われた選挙について、自身のソーシャルメディア・アカウントにて見解を表明。

「2024年7月28日から現在までに起きたことは何か？」「（24年7月28日に行われた大統領選では）エドムンド・ゴンサレスが国民の70%の支持を受けた」「一方、本日は90%の国民がマドゥロに“No”を突き付けた」と投稿。

90%の国民がマドゥロを否定したとの見解を示した。

なお、この90%という数字の根拠は不明だが、考えられるとすれば、2024年7月の大統領選の結果をベースにしているのかもしれない。

MCM氏率いる野党グループは、2024年7月28日に行われた大統領選について、マドゥロ大統領の得票数が322,6万票だったと認識している（「[ウィークリーレポート No.366](#)」）。

ベネズエラの有権者数は21,524,126人なので、約215万人が与党候補に投票した場合(つまり、約1937万人の有権者が投票不参加、あるいは与党以外の候補者に投票した場合)は、「90%の国民がマドゥロに“No”を突き付けた」と認識できるだろう。

24年7月の大統領選でマドゥロ大統領が獲得した得票数322.6万票から、更に100万票ほど減ったと仮定すれば「90%の国民がマドゥロに“No”を突き付けた」と言えるのかもしれない。

### 「大統領選から1年 野党が不正選挙を訴え」

前述の通り、2024年7月28日にベネズエラで大統領選が行われた。

つまり、2025年7月28日は昨年の大統領選から1年が経過した日に当たる。

主要野党およびMCM氏、エドムンド・ゴンサレス候補は、大統領選から1年が経過したタイミングでマドゥロ政権による不正選挙を非難した。

主要野党を中心とする野党連合「統一プラットフォーム(PUD)」は、ソーシャルメディア・アカウントにて声明を発表。

「2024年の大統領選は、エドムンド・ゴンサレス候補が正当な当選者だが、強権政権が民意を踏みつけ、政権に留まり、投票を無意味なものにした」と主張。マドゥロ政権に対して、民主主義の道へ戻るよう呼びかけた。

スペインに亡命しているエドムンド・ゴンサレス候補は、「BBC」のインタビューに応じ、マドゥロ政権による不正選挙を訴えた。

ゴンサレス候補は、

「我々は、昨年7月28日の選挙で起きた不正行為の事実を訴え続けてきた」「この事実は消すことは出来ない」「誰もが不正選挙が行われた事実を知っており、彼らの不正を証明する証拠が公開されている」とコメント。マドゥロ政権による不正選挙を訴えた。

なお、記者から「ベネズエラに帰国する予定はあるか？」との質問を受けると、

「帰国の日付は決めていない」「戻るためには必要な要件をクリアしなければならず、現在はその要件がクリアできていない」「我々は現時点で帰国の決定を下すリスクは冒さない」と回答した。

## 経 済

### 「米 Chevron ベネズエラ事業再開について説明 ～ロイヤリティ、法人税などの支払い不明瞭～」

米国国務省のTammy Bruce 報道官は、Chevron に対する制裁ライセンスの発行について説明。

「ベネズエラ政府に対して原油資金を流入させることは許容しない」と説明した。

この方針は、かねてからトランプ政権が掲げている方針で、Chevron の事業再開は許可したが、「ベネズエラ政府に対して原油資金を流入させることは許容しない」という方針は維持しているということになる。

ただし、実際のところ2022年にバイデン政権が発効した制裁ライセンスは、Chevron がマドゥロ政権あるいはPDVSA に金銭を支払うことを禁止しており、金銭的な支払いは希釈剤などで代物返済するよう定められていた。

トランプ政権が、更に条件を厳しくするとすれば、「ベネズエラ政府への法人税やロイヤリティの支払い」の部分だろう。

実際のところ、バイデン政権が発効した制裁ライセンスには「ベネズエラ政府への法人税やロイヤリティの支払い」が禁止事項として定められている。

しかし、Chevron は PDVSA と合弁会社を設立して、ベネズエラで活動をしており、ベネズエラ政府に法人税やロイヤリティを支払うのは、Chevron ではなく、その合弁会社である。

そして、その合弁会社の株式の50%超は PDVSA 側が保有しており、ベネズエラ政府への法人税やロイヤリティの支払いは PDVSA 側に決定権があり、Chevron は支払いに関与する権限がない。

つまり、バイデン政権が定めた制裁ライセンスでは、「ベネズエラ政府への法人税やロイヤリティの支払い」という禁止事項が無意味なものになっていたということになる。

新たにトランプ政権が発効した制裁ライセンスは、この点について更に条件を厳しくしているのかもしれない。

ただし、トランプ政権は Chevron に対して発行した制裁ライセンスを非公開としており、具体的にどのような制裁ライセンスが発行されたのかは不明である。

#### 「外国企業 米政府にベネズエラ事業の再開要請」

ロイター通信は、「外国のエネルギー会社が米国政府に対して、ベネズエラでの事業再開についてライセンスの発行を要請している」と報じた。

具体的には、スペインの「Repsol」、イタリアの「Eni」、フランスの「Maurel & Prom」、インドの「Reliance」らの名前が挙げられている。

「Chevron」のベネズエラ事業再開が許可されたとの報道を受けて、これらの企業も制裁ライセンスの発行を要請しているということだろう。

ロイターが各社の広報担当に事実確認を行ったところ、「Maurel & Prom」は「現時点で制裁ライセンスの発行は受けていない」と回答。

「Repsol」、「Eni」、「Reliance」および PDVSA は、ロイターからの質問に回答していないという。

#### 「Bancamiga 6カ月で財務収入354.2%増」

昨今、ベネズエラの民間金融機関の中で「Bancamiga」の躍進が著しい。

Bancamiga は、金融機関の中では小規模と認識されていたが、ユーザーフレンドリーなプラットフォームの開発、融資の増加などで顧客を増やしており、2025年には顧客数が100万人を超えた。

2025年6月末時点の Bancamiga の総貸付残高は2024年12月末から192.58%増。貸付額では、国内の民間金融機関の6位になったという。

また、外貨預金額では民間金融機関の3位に浮上。財務収入は354.23%増だったという。

なお、Bancamiga の José Simón Elarba 頭取は、2025年7月17～18日に行われた Fedecamaras の総会で最優秀企業家賞を受賞していた（次ページ写真）。



(写真) Fedecamaras “José Simón Elarba 頭取”  
“写真左、緑色のネクタイを付けた男性”

## 「JAC Motor カラカスに正規販売店オープン」

中国の自動車メーカー「JAC Motor」は、カラカスのラス・メルセデス地区およびエルアティージョ市のショッピングセンター「Parque Cerro Verde」に新たに2つの正規販売店をオープンすると発表した。

新たに2つの販売店をオープンすることで、JAC Motorは全国に28カ所の店舗を持つことになるという。

「ベネズエラ自動車商工会 (CAVENEZ)」によると、2025年1～6月までの「JAC Motor」の新車販売数は5,493台で、TOYOTAに続いて2位。

ベネズエラの新車販売シェアの36.7%を占めている(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1245](#)」)。

2025年7月29日(火曜)

## 政治

「外相 米政府による児童33人の誘拐訴え」

7月29日 イバン・ヒル外相は、「トランプ政権がベネズエラの児童33人を誘拐し続けている」と主張。

コロンビアでベネズエラ問題を担当している米国国務省のJohn McNamara氏について「児童誘拐の主犯格であり、倫理的に極めて問題がある人物」と訴え、33人を即座にベネズエラへ帰国させるよう求めた。

なお、以下は、ベネズエラ外務省が公表している、両親と引き離され、米国に留まっている児童33人の写真。



Niños secuestrados en EEUU

(写真) ベネズエラ外務省

## 経 済

## 「大企業・中堅企業の税負担 GDP 14%に相当」

ベネズエラ税法連合会の Daniel Betancourt 弁護士は、ベネズエラの税制は、「実質的な税金（税金ではないが、強制的に支払いが求められる拠出義務金など）」が多いと指摘。

「実質的な税金」を含めて、大企業および中堅企業の納税額は、GDP 全体の 14% を占めるとの見解を示した。

Betancourt 弁護士によると、この負担率は、他のラテンアメリカ諸国と比べれば小さいという。

ただし、「税負担が大企業や中堅企業を中心に一部企業に偏っているという点で問題がある」との見解を示した。

一方、登記を行わないままビジネスを行っている企業は、税金を支払っていないと指摘。適切な税負担を実現するために法人登記を促進する必要があると指摘した。

## 「輸出有望品はカカオ、果物、メタノール」

「ベネズエラ貨物・通関業者協会（Asocav）」の Gretsyt Marín 代表は、ラジオのインタビュー番組に出演。

2025年後期は、中国とベネズエラが通関手続きに関連する合意が実現することで、ベネズエラから中国向けの輸出が増加するとの期待を示した。

Marín 代表によると、特に輸出の増加が期待されるのは、農業製品で、具体的にはカカオ、トロピカルフルーツなどが有望との見解を示した。

また、メタノールについても輸出が拡大すると指摘した。

他、金属についても国営企業の稼働状況によっては輸出が拡大する余地があると述べた。

## 「2025年前期 コーヒー輸出は500%増」

フリオ・レオン土地農業相は、2025年前期のコーヒーの輸出量が8.6万キントルだったと説明。2024年前期と比べて500%増加したと述べた。

また、「近日中に米国向けに95.9トンのコーヒーの生豆を輸出する予定がある」と説明。

25年後期もコーヒーの輸出拡大が期待されており、2025年末にはコーヒーの輸出量が前年比1000%増（約10倍）になるとの見通しを示した。

なお、前述の米国向けコーヒー輸出は、「Corporación Karaka XXI, C.A.」とベネズエラ行政の協力事業として実現するという。

「Corporación Karaka XXI, C.A.」の Oscar Machuca 社長は「米国向けの輸出に先駆けて、既にマレーシア、ロシア、トルコ、東南アジアにも輸出しており、米国向けの輸出により輸出先は5カ国目になる」とした。

## 「ベネズエラ イランと6分野で協力深化約束」

7月29日 マドゥロ大統領は、イランの Mahmoud Pezeshkian 大統領と面談したとコメント。

マドゥロ大統領は、「イランの Pezeshkian 大統領と、エネルギー、科学、テクノロジー、医療、農業、工業の分野で2国間関係を許可することで合意した」と説明した。

この合意は、2022年にイラン政府と合意した「戦略的協力合意」に基づいた関係強化だという。

また、両大統領はイランとイスラエルの紛争について意見交換を行い、マドゥロ大統領は「国連安全保障理事会でイスラエルの核武装解除を要請する」「イスラエルは秘密裏に核兵器の保管を行っており、世界的な脅威になっている」とコメント。

世界的な平和を実現するために、西アジアに核兵器禁止区域を創設することを提案したという。

## 社 会

### 「ベネズエラでポピュラーな名字トップ10」

日本でも頻繁に見る名字があるようにベネズエラでもポピュラーな名字というものが存在する。

現地メディア「Al Navio」によると、ベネズエラで最もポピュラーな名字は、「González」。González の名字を持つベネズエラ人は、88万人超だという。

González に次いでポピュラーな名字は「Rodríguez」で約77.7万人。3番目は「Pérez」で約55.7万人だという。

ベネズエラ人に多い名字トップ4～10は以下の通り。

4. Hernández
5. García
6. Martínez
7. Sánchez
8. López
9. Díaz
10. Rojas

### 「CLAP の中身と現在の価格、購入条件は？」

マドゥロ政権は、現在も安価な基礎食料品セット「CLAP」を不定期的に販売している。

参考までにカラカス・スクレ市のベタレ地区で販売された CLAP の値段と内容を紹介したい。

CLAP の食料品セットの中身は以下の通り。

- ・食用油 1リットル
- ・とうもろこし粉 2キロ
- ・パスタ 1キロ
- ・牛乳 250グラム
- ・粉ミルク 250グラム
- ・イワシ缶 2缶(170グラム)
- ・米 2キロ
- ・砂糖 1キロ
- ・鶏肉のソーセージ缶 1つ
- ・豚肉のソーセージ缶 1つ
- ・食塩 500グラム
- ・豆 1キロ
- ・小豆 500グラム

このセットの価格が80ボリバル。現在の為替レートで言うと、0.65ドル(約95円)ということになる。



(写真) Al Navio

なお、CLAPの食料品セットを購入するには「祖国システムへの登録」「家族の世帯主であること」「その地域のコミュニティの一員であること」「一定期間、その土地に居住していること」など一定の要件がある。

## 「グアリコ州 豪雨で9000超の世帯に影響」

7月29日 グアリコ州で豪雨が発生し、同州 Esteros de Camaguán 市の2つの川が氾濫。

Esteros de Camaguán 市の Emilio Ávila 市長は、今回の豪雨により9000超の世帯が影響を受けたと報告した。

また、市は被災者向けに食料品を配給しており、約2500世帯に食料品を配ったと説明している。



(写真) Bancaynegocios

以上